

校長のつぶやき

校長室便り 第24号

令和元年8月22日

山内



○8月22日 始業式 校長式辞 -人間力-

生徒の皆さん、先生方おはようございます。夏休み中の生活はいかがでしたか？今日これまでに岩高生も先生方も大きな事故等の報告はありません。この夏休み中、宮城県内では高校生が事故等に巻き込まれ、尊い命が失われたこと等が報道されましたが、今日、岩高はここに無事全員始業式に参加できたこと校長として何よりもうれしく、そして一人一人に感謝いたします。

さて今日は皆さんに身につけて欲しい「力」の話をします。岩高は宮城県の公立、全日制普通高校です。自らの進路志望を切り開いていく大きな力として、「学力」が重要であることは言うまでもありません。真摯に学習に取り組む岩高生を心から激励したくもなります。しかし、同時に、これから先々自らの人生を切り開いていかなければならない時、学力以上に問われるのは、むしろ「人間力」である場合が多いということを知っておいて欲しいのです。岩高に合格した時点で、皆さんには学力が身につけているのです。ただし、「人間力」に関してはどうでしょうか。

世の中には高学歴の諸氏は山ほどいます。時折目にする人間性に裏打ちされていない高学歴者は恐れるに足りません。皆さんが磨くべきは、学力と同等、いやそれ以上に「人間力」だと確信しております。

「人間力」とは言い換えるなら、深い人間性に裏打ちされた品性と言えます。大学入試問題や就職試験は各教科・科目の基礎・基本を忠実に繰り返すならば高得点は十分に狙えます。しかし、品性はそうはいきません。こればかりは「一夜漬け」、つまり「促成栽培」が効かないのです。品性は良き友や先生、良い本との出会いによって磨かれたり、日々の何気ない・さり気ない行動によって蓄積されていきます。日々あたりまえに行っている礼儀作法の励行の中で、出会う人々に不快感を与えないような身だしなみを整える中で人間力は磨かれて行くものです。ですから先ほどまで行われていた岩高の容儀指導はとても大切なことなのです。このことは、決して点数化できないものなのです。私はこのことを「目に見えない力」とも呼んでいます。

岩高生の皆さん、是非人間力を磨いてください。皆さんならできます。以上で私の話は終わりにします。拙い話を真剣に聞いてくれてどうもありがとうございました。-抜粋-

○夏休み岩高生の様子 -卓球部1年生大活躍-

肌寒い梅雨が長かった分、梅雨明けからの猛暑は本当に厳しいものがあったこの夏休み。熱い中、グラウンドや体育館で大汗をかきながら部活に励む1・2年生の姿、教室や進路室で求人票を見たり、模擬面接を繰り返す真剣な眼差しの3年生の姿を多く目にしました。学校以外の様々な場面でも今しかできない良い経験を積んだことと思います。今日は多くの岩高生の活躍の中から一つ紹介します。8月9日(木)三本木総合体育館で行われたR1全日本卓球選手権ジュニアの部大崎地区予選会女子シングルスで1年1組佐々木珠莉奈さんが、インターハイに出場した選手に勝って見事優勝しました。快挙です。おめでとうございます。県大会も頑張ってください。

